



Cosmo Image Optimizer

Version 1.0.0

初心者向け 取扱説明書

発行: コスモ企画
<https://ddm-cosmo.com/>

2026年9月

目次

1. このプラグインについて
2. 動作要件
3. インストール方法
4. 設定画面の開き方
5. 画像リサイズ設定
6. フォーマット変換設定
7. WebP 変換設定
8. 一括処理の使い方
9. 日常の使い方（運用ガイド）
10. よくある質問（FAQ）
11. トラブルシューティング
12. アンインストール方法

1. このプラグインについて

Cosmo Image Optimizer は、WordPress にアップロードされる画像を自動的に最適化するプラグインです。大きすぎる画像を自動でリサイズし、WebP 形式にも変換することで、サイトの表示速度を改善します。

主な機能

機能	説明
 画像自動リサイズ	アップロード時に大きすぎる画像を設定サイズに自動縮小します。アスペクト比（縦横比）は自動で保持されます。
 フォーマット変換	BMP 画像を JPG に自動変換します。透過のない PNG 画像も JPG に変換できます（オプション）。
 WebP 変換・配信	画像を WebP 形式に自動変換し、対応ブラウザに WebP 画像を配信してページの読み込みを高速化します。
 一括処理	過去にアップロード済みの画像に対しても、リサイズや WebP 変換をまとめて実行できます。

 **ポイント:** プラグインを有効化するだけで、以後アップロードする画像は自動的に最適化されます。特別な操作は不要です。

2. 動作要件

本プラグインを使用するには、以下の環境が必要です。

項目	要件
WordPress	6.0 以上
PHP	7.4 以上
画像処理ライブラリ	GD ライブラリ または Imagick (どちらか一方で OK)
WebP 自動配信	Apache + mod_rewrite (Nginx 等では.htaccess が動作しないため自動配信は不可)

i 一般的なレンタルサーバー（エックスサーバー、さくらインターネット、ConoHa WING 等）であれば、ほとんどの場合そのまま動作します。

3. インストール方法

方法 A: ZIP ファイルからインストール

① WordPress 管理画面にログインします。



② 左メニューの「プラグイン」→「新規プラグインを追加」をクリックします。



③ 画面上部の「プラグインのアップロード」ボタンをクリックします。

④ 「ファイルを選択」から cosmo-image-optimizer.zip を選択し、「今すぐインストール」をクリックします。

アップロードしたファイルからプラグインをインストールしています: cosmo-image-optimizer (1).zip

パッケージを展開しています...

プラグインをインストールしています...

プラグインのインストールが完了しました。

プラグインを有効化

[プラグインインストーラへ移動](#)

更新が必要な翻訳が一部あります。更新が終わるまでしばらくお待ちください。

WordPress (ja) の翻訳を更新しています...

翻訳が正常に更新されました。

- ⑤ インストール完了後、「プラグインを有効化」をクリックします。

方法 B: FTP でインストール

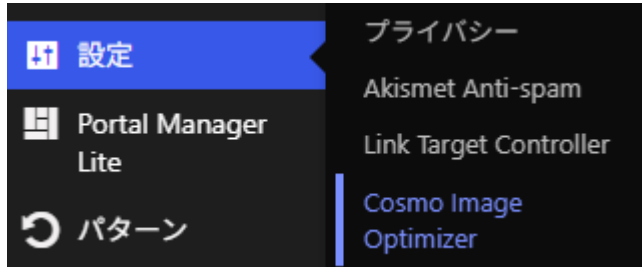
- ① ZIP ファイルを解凍します。
- ② FTP ソフトで cosmo-image-optimizer フォルダごと /wp-content/plugins/ にアップロードします。
- ③ WordPress 管理画面の「プラグイン」一覧で「Cosmo Image Optimizer」を有効化します。

✓ 有効化すると、デフォルト設定が自動的に適用されます。WebP 用ディレクトリの作成や.htaccess の設定も自動で行われます。

4. 設定画面の開き方

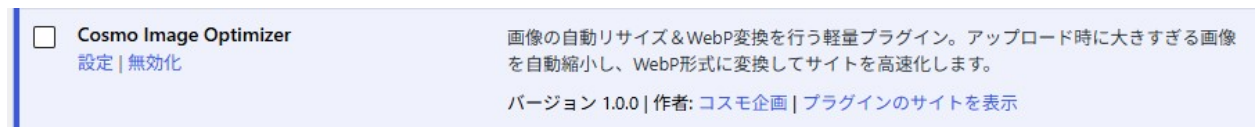
設定画面へは以下の2つの方法でアクセスできます。

方法1: メニューから



WordPress 管理画面の左メニューから「設定」→「Cosmo Image Optimizer」をクリックします。

方法2: プラグイン一覧から



「プラグイン」一覧で Cosmo Image Optimizer の「設定」リンクをクリックします。

設定画面の構成

設定画面は以下の4つのセクションで構成されています。

セクション	内容
 サーバー環境	GD ライブラリ・Imagick・WebP 対応状況を表示します（設定不要・確認のみ）。
 画像リサイズ設定	自動リサイズの ON/OFF、最大幅・高さ、JPEG 品質を設定します。
 フォーマット変換	PNG→JPG 変換、BMP→JPG 変換、オリジナル画像削除を設定します。
 WebP 変換設定	WebP 自動変換の ON/OFF、品質、自動配信を設定します。

5. 画像リサイズ設定

アップロードされた画像が設定した最大サイズを超えている場合、自動的にリサイズ（縮小）します。


画像リサイズ設定

アップロードされた画像が指定サイズを超えている場合、自動的にリサイズします。

自動リサイズ

☒ アップロード時に自動リサイズする

最大幅 (px)

0 にすると幅の制限なし (推奨: 1920)

最大高さ (px)

0 にすると高さの制限なし (推奨: 1920)

JPEG品質

1～100 (推奨: 82)。数値が高いほど高品質ですがファイルサイズが大きくなります。

設定項目	初期値	説明
自動リサイズ	ON (有効)	チェックを入れると、アップロード時に画像を自動リサイズします。
最大幅	1920px	画像の横幅がこの値を超えた場合にリサイズします。0 にすると幅は制限しません。
最大高さ	1920px	画像の高さがこの値を超えた場合にリサイズします。0 にすると高さは制限しません。
JPEG 品質	82	1～100 の範囲で指定します。数値が高いほど高画質ですがファイルサイズが大きくなります。推奨: 82。

 リサイズしたくない画像がある場合は、ファイル名に「noresize」を含めてアップロードすると、リサイズをスキップできます (例: logo-noresize.png)。

△ 最大幅・高さは一般的な PC 画面に合わせて 1920px が推奨です。より大きな画像が必要な場合のみ値を増やしてください。

6. フォーマット変換設定

画像のファイル形式を自動的に変換して、ファイルサイズを削減します。

🔄 フォーマット変換設定

PNG → JPG 変換

☐ 透過のないPNG画像をJPGに変換する
透過（透明部分）のあるPNGは変換されません。

BMP → JPG 変換

☒ BMP画像をJPGに変換する

オリジナル画像の削除

☐ WordPress 5.3+ のバックアップ用オリジナル画像を削除してディスク容量を節約する

設定項目	初期値	説明
PNG → JPG 変換	OFF	透過（透明部分）のないPNG画像をJPGに変換します。透過PNGは自動的に除外されるので安心です。
BMP → JPG 変換	ON	BMP画像をJPGに変換します。BMPはファイルサイズが非常に大きいため、通常はONのままで問題ありません。
オリジナル画像の削除	OFF	WordPress 5.3以降で保存されるバックアップ用のオリジナル画像を削除し、ディスク容量を節約します。

i PNG→JPG変換をONにすると、ロゴなどの透過が必要ないPNG画像のファイルサイズを大幅に削減できます。透過PNGは変換されないので安全です。

7. WebP 変換設定

WebP は Google が開発した次世代画像フォーマットで、JPEG や PNG より 20～30% 小さいファイルサイズで同等の画質を実現できます。

 WebP変換設定

画像をWebP形式に変換し、対応ブラウザに配信することでページの読み込みを高速化します。

WebP自動変換

☒ アップロード時にWebPファイルも生成する

WebP品質

1～100（推奨: 80）

WebP配信

☒ 対応ブラウザにWebP画像を自動配信する（.htaccess使用）
Apacheサーバーで mod_rewrite が有効な場合に動作します。

設定項目	初期値	説明
WebP 自動変換	ON	アップロード時に WebP ファイルを自動生成します。元画像はそのまま残ります。
WebP 品質	80	1～100 の範囲で指定します。推奨: 80。低くしすぎると画質が劣化します。
WebP 配信	ON	対応ブラウザに WebP 画像を自動配信します。Apache サーバーの mod_rewrite が必要です。

WebP 配信の仕組み

WebP 配信を有効にすると、.htaccess に自動配信ルールが追加されます。ブラウザが WebP に対応しているかを自動判定し、対応していれば WebP 画像を返し、非対応の場合は元の画像を返します。

WebP ファイルの保存場所

WebP ファイルは元画像のディレクトリ構造を保ったまま、専用フォルダに保存されます。

元画像: /wp-content/uploads/2024/01/photo.jpg

WebP: /wp-content/uploads/cosmo-webp/2024/01/photo.jpg.webp

8. 一括処理の使い方

プラグイン有効化前にアップロード済みの画像に対しても、リサイズや WebP 変換を実行できます。



一括リサイズ

- ① 設定画面下部の「⚡ 一括処理」セクションまでスクロールします。
- ② 「📁 既存画像を一括リサイズ」ボタンをクリックします。
- ③ 確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。
- ④ 進捗バーが表示され、1枚ずつ処理されます。完了まで画面を閉じないでください。

一括 WebP 変換

- ① 設定画面下部の「⚡ 一括処理」セクションまでスクロールします。
- ② 「🌐 既存画像を一括 WebP 変換」ボタンをクリックします。
- ③ 確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。
- ④ 進捗バーが表示され、各画像のサムネイルも含めて変換されます。

△ 重要: 一括処理を実行する前に、必ずサーバーのバックアップを取ってください。処理中はブラウザを閉じないでください。

9. 日常の使い方 (運用ガイド)

プラグインを有効化し、設定が完了したら、日常的に特別な操作をする必要はありません。

自動で行われること

- ・ 画像をアップロードすると、設定に基づいて自動リサイズされます
- ・ BMP 画像は自動的に JPG に変換されます (初期設定 ON)
- ・ アップロードと同時に WebP ファイルが自動生成されます
- ・ 対応ブラウザには WebP 画像が自動配信されます
- ・ メディアライブラリから画像を削除すると、対応する WebP ファイルも自動削除されます

確認したいとき

設定画面の「 サーバー環境」セクションで、GD ライブラリや WebP 対応の状況をいつでも確認できます。

10. よくある質問 (FAQ)

Q. 有効化しただけで自動的に最適化されますか？

A. はい。プラグインを有効化すると、以後アップロードする画像は自動的にリサイズ・WebP 変換されます。過去の画像には「一括処理」機能をご利用ください。

Q. 元の画像ファイルは消えてしまいますか？

A. リサイズ処理では元のファイルが上書きされます。WebP 変換では元画像はそのまま残り、別ファイルとして WebP 画像が生成されます。重要な画像は事前にバックアップをお取りください。

Q. WebP に対応していないブラウザではどうなりますか？

A. .htaccess の自動判定により、非対応ブラウザには元の JPEG/PNG 画像が配信されます。閲覧者に影響はありません。

Q. Nginx サーバーでも使えますか？

A. リサイズ機能と WebP 変換機能は使用できます。ただし、WebP の自動配信 (.htaccess 方式) は Apache 専用のため、Nginx の場合は別途サーバー設定が必要です。

Q. 透過 PNG 画像が JPG に変換されてしまいますか？

A. いいえ。PNG→JPG 変換を ON にしても、透過（透明部分）のある PNG は自動的に検出され、変換対象から除外されます。

Q. アニメーション GIF は WebP に変換されますか？

A. いいえ。アニメーション GIF は自動検出され、変換対象から除外されます。通常の GIF 画像のみ変換されます。

11. トラブルシューティング

症状	対処方法
WebP 変換されない	設定画面の「サーバー環境」で WebP 対応が「 ☒ 対応」になっているか確認してください。非対応の場合はサーバー管理者に GD ライブラリの WebP サポートを有効化してもらってください。
WebP 画像が配信されない	Apache サーバーで mod_rewrite が有効か確認してください。Nginx では .htaccess 方式は動作しません。
画像がリサイズされない	設定画面で「自動リサイズ」にチェックが入っているか確認してください。ファイル名に「noresize」が含まれている場合もスキップされます。
一括処理が途中で止まる	サーバーの PHP 実行時間制限が原因の可能性があります。処理は 1 枚ずつ行われるため、ページを再読み込みして再度実行してください（処理済みの画像はスキップされます）。
画質が悪くなった	JPEG 品質や WebP 品質の数値を上げてください（推奨: JPEG 82、WebP 80）。ただし数値を上げるとファイルサイズが大きくなります。

12. アンインストール方法

無効化する場合

「プラグイン」一覧で「無効化」をクリックすると、プラグインが停止します。.htaccess の WebP 配信ルールは自動的に削除されます。設定値や WebP ファイルは保持されるため、再有効化すると元の設定で動作を再開します。

完全に削除する場合

プラグインを無効化した後、「削除」をクリックすると以下が実行されます。

- ・プラグインの設定値がすべて削除されます
- ・WebP 変換ファイル（cosmo-webp フォルダ）が削除されます
- ・.htaccess から WebP 配信ルールが削除されます

△ 削除後は元に戻せません。必要に応じてバックアップを取得してから削除してください。